

第1回新しい学校づくり鳴門市地域協議会議事録

(1) 高校再編方針について

(2) 新しい学校の教育について

委員

鳴門市は農業が盛んであるため、農業コースがあってもいいと思います。

県教育委員会

新しい学校づくりについて、地域のニーズに合ったご意見をお願いしたいと考えています。

農業教育には施設・設備、実習地の問題点、また、進路の問題点があります。大きな課題ではありますが、色々なご意見を出していただいて、協議会の中で新しい学科について協議していただきたいと思います。

委員

農業大学校へ進学を希望する生徒がいるとのことでしたが、生徒の農業教育へのニーズなどはどうなっていますか。

委員

農業大学校へ進学を希望している生徒が、将来農業実践者として活躍していくのかどうかという点に関しては、まだ未知数です。現時点では、生徒の進学して農業関係の研究がしたいという希望を大切にしながら進路指導をしています。

委員

鳴門市は、なると金時をはじめ、農産物が豊富です。

小松島西高校が鳴門の桑島で新商品の開発、販売を行っています。鳴門第一高校には、もともと商業科があったので、生徒たちがこれからの産業、商業について自分で考えていける起業家コースの設置もいいのではないのでしょうか。

委員

これまで鳴門第一高校は様々な変遷を経てきましたが、発展的な変遷と受け止めてきました。校名は変わっても卒業生には母校愛があります。

協議会では同窓生の思いも述べていきたいと思います。

また、鳴門工業高校についても、鳴門市あげて工業立国を目指した歴史を踏まえて再編を考えていきたいと思っています。

市立と県立がうまくまとまるのかという心配はありますが、円滑に統合し、生徒にとって魅力ある高校になるようにしていきたいと考えております。

委員

鳴門工業はロボット教育に力を入れています。機械コースを完全になくしてしまうのは残念に思います。ただ、経費や機械設備の問題があるのも事実です。

新しい学校の教育は、地域で生徒を雇用できる教育を目指すべきです。

これからの総合学科でも、特に、インターンシップの機会を増やして、地域を巻き込んでいく教育が必要であると思います。

地域で子どもを育てていく方法を協議できたらと思っています。

委員

少子化という時代の流れはわかります。再編統合も仕方のないことと思いますが、どの高校にも母校愛があるので、難しい問題であると感じます。

体育科の他にも、鳴門には大谷焼があり陶芸コースも設置したらどうでしょうか。

委員

自分は、普通科出身であるため鳴門第一高校の総合学科の説明を聞くと、選択肢が多くあり、うらやましく思います。

専門的な科目の他にも、国際社会に対応した語学のコースなどを設置して、他地域から見て鳴門に魅力があるような高校にしてほしいと思います。

委員

高校再編の時期は自分の子ども達が受験する時期と重なります。

高校を選択するとき、総合学科、スポーツ科、普通科と選択肢があることが望ましいと思います。

また、どちらにしても地元にある高校ということが重要です。

これまで、地元、地域の学校の中で自分は育ってきました。新しい学校も地域で育ていけると思います。また、少子化を受け、部活動における連携の手助けなども行っていきたいと考えています。

新しい学科についてはいろいろな意見が出てくるとは思いますが、生徒にとって、可能な限り選べるコースがあることが望ましいと考えています。

また、子どもの受験を考えると再編の時期も知らせてほしいと思います。

委員

鳴門工業の機械コース・環境コースは、総合技術高校で対応すると聞いていますが、鳴門工業高校の教職員、卒業生、地域住民の思いがあるので、それを受け止めて新しい学校をつくっていただければと思います。

委員

総合学科は就職に不利であると聞いたことがあります。どうなのでしょう。

魅力ある高校づくりのためには、卒業後の進路という出口が明確であるということが大切な点だと思います。

委員

総合学科の認知度はまだまだ低いので、企業、大学、専門学校に丁寧に説明しています。企業にも御理解いただき、地元の企業からも「是非、本社に来てください」と声をかけていただきました。その結果、昨年度の卒業生は、ほぼ希望通りに就職できました。

また、あまり知られてはいませんが、進学でも総合学科卒の推薦があり、うまく利用していきたいと考えています。

委員

鳴門市が鳴門工業高校をもてあましたという訳ではありません。ただ、工業高校の生徒のうち鳴門市の中学生が進学する割合が40%を切っているということ、施設・設備充実の問題などから県が行っている高校再編の中に組み込んでもらえればと考えています。

高校再編において鳴門工業高校の伝統と鳴門市民の気持ちを汲んでいただければと考えています。

委員

新しい高校にこれまで培ってきた工業教育（ものづくり）を再構築して行ってほしいと思います。そのため、工業教育の系列をつくり、選択科目の中で旋盤、溶接などの学習ができたらし思います。

また、地域に還元していける教育、地域貢献ができるような教育をしていける学校にしたいと考えています。

委員

職業高校というのは、社会の即戦力を育てる高校だと思います。

総合学科の名前だけ聞くとどんな就職先を見据えているのか分かりませんが、自分たちでコースを決めることは大変有益であると思います。

いろいろな教育を取り入れるのもひとつの方法ですが、新しい学科は、地域の中で職業高校として成り立つために必要な専門学科に力を入れる考え方もあると思います。専門分野を深く掘り下げていくこともひとつの考え方であると思います。

委員

鳴門の中学生が誇りを持って、喜んで入学してくるような高校にしたいと考えています。

鳴門市内の生徒が徳島市に流出することなく、全員が入学してくてくれるような学校にしていきたいと思います。

委員

鳴門市のこれまでの特色を生かした教育に視点をおくと、市内はスポーツが盛んですので、体育科の設置は的を射たものと思います。

体育科の中身は、どうするのですか。魅力あるものにしていかないとまたすぐ再編対象になってしまう恐れがあります。体育科について具体的にもう少し説明してください。

事務局

事務局において全国の体育科を調査して、次回に資料として提出したいと考えております。

委員

地元子ども達に、地元の高校へ行きたいと思ってもらうために、魅力ある高校に再編しなくてはならないと思います。

施設設備も子ども達にとっては魅力になります。施設設備の充実もあわせて検討してもらいたいと思います。

子ども達のニーズにあった総合学科がどのようなものか、具体的にはまだ分かりませんが、鳴門の子ども達が魅力を感じる学校にしていきたいと思います。

委員

鳴門市民は新しい校舎が建つと思っています。子ども達を安心して通わせることができる耐震のしっかりした新しい校舎が必要であると思います。

委員

各委員は、第2回の協議会までに何を考えてきたらいいのでしょうか。

また、事務局は、委員の意見の集約ではなく、提言をしてほしいと思います。

委員

事務局に、ご意見に基づいて、総合学科の系列や新しい学科について調べていただき、新しい学校の原案を作ってください、次回の協議をしたいと考えています。

我々委員も原案を待つだけではなく、今日の会議を踏まえて、提案できるようアイデアを考えてきたいと思います。